

工学院大学Bチーム

機体名 : Icarus

学部2年 鈴木直人

コンセプト



風に負けない方法として、固定翼での飛行
内部機構の小型化

機体の概要

- カイト型
- 垂直尾翼で旋回
- 主軸は折りたたみ式



工夫点

- 翼面積を最大限確保した
- 翼に傾斜をつけ、横風に対応できるようにした
- 内部のメンテナンスがしやすいように骨組みと基盤を分離させた



今大会の結果と反省点

投下回数：2回
機体の破損：なし

一回目、二回目ともに**GPS**データは保存できた
制御の証明はできなかった

成果と今後の課題

- 翼型の機体を作ることができた
- 小型化、軽量化に成功（約1000gから600g）
- 翼の収納、展開の成功
- 安定した飛行をする
- さらなる小型化、軽量化
- センサーの充実
- 旋回方法の改善

ご静聴ありがとうございました